

「水害」について学びました！！

寺泊コミュニティ
まちづくり部会

近くに住んでいながら、なかなか足を運ぶことが少ない大河津資料館を訪問しました。

大河津資料館コーディネーターの樋口勇氏に館内の解説や水害について話をいただきました。大河津分水路を造るにあたっての先代の苦労や水害のおそろしさを知ることができました。



現在の「米どころ新潟」があるのも、先代が度重なる水害を防ぐために大河津分水路を造ってくれたお陰だと改めて知りました。

先代の苦労と努力に頭が下がる思いでいっぱいになりました。



うわ～。びっくり！！



明治29年に記録的な大水害「横田切れ」が発生し、越後平野は壊滅したそうです。左の写真は、その時の浸水の深さを表した柱です。

自分たちの背丈よりも遥かに高い浸水の高さにみなさん驚かされていました。



参加者のみなさんの声

- もっと身近なものとして災害を考えていかなければいけないと思いました。
- いつ災害に見舞われても心の準備は常に必要かと改めて感じました。
- ハザードマップの見方がよく理解できました。



可動堰や洗堰の仕組みや、現在行われている川幅を広げる工事について、模型を見ながら解説をしていただきました。

参加者から質問が飛び交い水害や大河津分水路についての関心の高さを感じました。